

【開催要領】

第 211 回農林交流センターワークショップ

メッシュ農業気象データ利用講習会

平成 30 年 6 月 28 日(木)～6 月 29 日(金)

内 容：

近年の温暖化傾向に伴い、高温による減収や品質低下が各地で問題となっており、これを克服する技術の開発が全国で進められています。また、農業人口の高齢化に伴って「担い手」に集積する小規模で分散した圃場を効率的に経営するために、複数の作物や品種を組み合わせる機械の稼働や労働を平準化する技術が求められています。

メッシュ農業気象データシステムは、このような技術の開発を支えることを目標に開発された気象情報サービスで、1980 年から来年までの広い期間の多彩な日別気象値と、気候温暖化シナリオを 1km メッシュで全国についてオンデマンドで取得することができます。

本ワークショップは、メッシュ農業気象データについて理解するとともに、プログラミング言語 Python や表計算アプリでこれを処理する技術を習得します。

期 間：平成 30 年 6 月 28 日(木)～6 月 29 日(金)

場 所：農研機構 食と農の科学館 オリエンテーションルーム（つくば市観音台 3 - 1 - 1）

主 催：○農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター
○国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター

対 象：産学官で研究・開発に従事している方で、気象データの農業利用に関心のある方

募 集 人 数：36 名

日 程：日程表(別紙)

※全日程に参加することとし、代理の方の参加は認めていません。

用 意 す る 物：指定するソフトウェアがインストールされたノート PC（※下記条件をご確認下さい。）

1. 無線または有線の LAN 接続機能を有する PC をご用意ください。
2. Windows7 以降、または、Mac OS X 10.11 以降を OS とする PC をご用意ください。
3. 実習で Microsoft Excel（バージョン Excel2007 以降）を使用します。
4. 実習で ANACONDA(<https://www.anaconda.com/>)を使用します。受講者には、セットアップの資料を送付するので、事前にセットアップしてください。
5. 実習で QGIS(<https://www.qgis.org/ja/site/>)のデモンストレーションを行います。事前にセットアップをしている受講者は、同じ操作を体験することができます。希望者には、セットアップの資料を送付するので、事前にセットアップしてください(任意です)。

<その他>

利用者のアカウント名に日本語を使用しているとアプリケーションが誤作動を起こすことがある為、受講決定後、アルファベットのアカウントを各自別途作成して頂きます。（権限は一般ユーザで構いません）

申込方法：下記にて5月24日（木）までにお申し込み下さい（必着）。

- 農林水産省関係の国立研究開発法人等に所属している方
筑波産学連携支援センターのホームページから「申込書・アンケート」をダウンロードし、所属機関の窓口を通じてお申し込み下さい。
- 上記以外の方（大学・公立研究機関・民間企業等に所属している方）
筑波事務所のホームページのお申し込みフォーム
(<https://pursue.dc.affrc.go.jp/form/fm/tbh/211meteorological>)
からお申し込み下さい。
(なお、申込書に記載の個人情報は本ワークショップに係る事以外に使用することはありません。)

受講者の決定：6月4日頃、メールにてお知らせいたします。

参加費：無料 ※受講後のアンケート回答は必須です(5～15分程度)。

交通・宿泊費等：各自負担(筑波産学連携支援センターの宿泊施設をご利用いただけます。) 宿泊施設予約の有無は、受講決定後にお伺いいたします。

お申し込み・お問合せ先

〒305-8601 茨城県つくば市観音台 2-1-9

農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター
コーディネーション推進課 鈴木・木暮（きぐれ）

TEL：029-838-7136 FAX：029-838-7204

✉：koryu7129@cc.affrc.go.jp

【日 程 表】
 第 211 回農林交流センターワークショップ
メッシュ農業気象データ利用講習会

平成 30 年 6 月 28 日(木)～6 月 29 日(金)

6 月 28 日 (木)

9:00-09:05	挨拶	農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター コーディネーション推進課長	加藤 隆
9:05-09:15		オリエンテーション	大野宏之
9:15-09:40		参加者・講師自己紹介	
9:40-10:30	講義	メッシュ農業気象データとその活用	佐々木華織
10:30-10:40	(休憩)		
10:40-11:00	講義	メッシュ温暖化シナリオデータについて	西森基貴
11:00-11:50	講義	メッシュ農業気象データの取得	根本 学
11:50-12:50	(昼食)		
12:50-13:50	実習	Python によるプログラミングの基礎	片柳薫子
13:50-14:50	実習	Python によるメッシュ農業気象データの処理 1	川方俊和
14:50-15:00	(休憩)		
15:00-16:00	実習	Python によるメッシュ農業気象データの処理 2	大久保さゆり
16:00-16:30	講義	メッシュ農業気象データの特長について	桑形恒男
16:30-17:10	討論	グループで開発するアプリケーションの検討	大野宏之

6 月 29 日 (金)

9:00-09:05		オリエンテーション	大野宏之
9:05-12:00	実習	グループごとにメッシュ農業気象データを利用するアプリケーションを開発	
12:00-13:00	(昼食)		
13:00-15:00	発表	グループで開発したアプリケーションの発表	大野宏之

【講 師】 (◎はコーディネーター)

- ◎大野 宏之 農研機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域 主席研究員
- 佐々木華織 農研機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域 主任研究員
- 西森基貴 農研機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域 影響予測ユニット長
- 根本 学 農研機構 北海道農業研究センター 生産環境研究領域 主任研究員
- 片柳薫子 農研機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域 研究員
- 川方俊和 農研機構 東北農業研究センター 生産環境研究領域 上級研究員
- 大久保さゆり 農研機構 東北農業研究センター 生産環境研究領域 主任研究員
- 桑形恒男 農研機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域 主席研究員